

— The —
T・E・I・B・A・N
奈良の動詞のデザイン展

《個の想い × デザイン × 切磋琢磨 = 豊かな社会》

10月13日(水) - 10月19日(火)

10:00 - 20:00 *最終日は16時閉場

場所 阪急うめだ本店 10F 中央街区パーク

主催 奈良県産業振興総合センター

<https://www.pref.nara.jp/47796.htm>

「新しい」ことに価値があるという観点は、例えば、ヒット商品をつくりたいというのであればそうかもしれません。しかし、結果として時間がたてば見向きもされなくなる可能性があります。

しかし、「定番」という存在は、「新しい」を求めるのとは別の観点から生まれます。そのことは、「新しい」より「普遍性」に価値を据えようとする姿勢です。「定番」一スタンダードーを目指すことは、サステナブルな社会の実現にもつながります。

官民協働の取り組み

「奈良ブランド開発支援事業」は、官民協働の取り組みが共感を呼び、評価を頂いています。社会の課題解決に、“協働”が求められている時代に、行政も民間事業者もそれぞれの役割を果たすため、“協働”で長年進めてきています。

奈良県庁（行政）が、製造業の方々を対象とした自社ブランディングのプラットフォームをつくり、事業者の方々がそこで学び、理解を深め、想いを整理し、実践の舞台に立ち、評価を仰ぐ。

このプラットフォームに集うのは、多業種、多地域からの後継者、若き経営者の方々。業種や地域は違えど、それぞれの課題はよく似ていて、各自、切磋琢磨を続けています。

参加者が集う学びの場であるブラッシュアップミーティングは、夜の3時間、毎月1回。学び、自身を見つめ直し、思考し、チャレンジする繰り返しです。共通の方向性は、社会性を持ち、ロングセラーを目指すものづくり。ブランディングという概念を真に理解することはなかなか難しく、繰り返し、繰り返し、学び、実践をしています。

13年目となった県の事業ですが、「継続は力なり」という言葉があるように、継続することで官も民も成長していくことを実感します。

グッドデザイン賞連続受賞の評価を得、また、様々な応援をいただき、常設店開設も果たし、新たなステージにいます。行政の役割はこのプラットフォームの質を高めていくこと。新たな事業者の方々の参加を促し、高いステージでの評価を得、力をつけていく学び舎を目指しています。

■出展事業者

聖山／折敷と木箱、TSUJIMURA／葛の御菓子、垣本鉄工所／柔らかな鉄の空間、4Nov／ハンドメイドの貝ボタン
naice 中田真太郎／椅子のふるまい、Mint Therapeutics／天然ミントのジェルと湿布、紀寺の家／創造的休暇
Yaquo Warms Labo／薬湯、漢方サプリ、COTOYUI／ニットウェアの可能性、Caqueco／足から生活のリズム
Mafu a Mano／麻のある空間、Biblioteca／定番ジャケット、高畑めがね工房／丸眼鏡、NUUMAN／Tote chic
Team T／お茶